

第1196号

株式会社 茨城木材相互市場

2019

# 那珂川NEWS 8

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

「茨城・森から家 Net」主催

## 「里山住宅博」inTUKUBA ツアー開催

地域の工務店様のスキルアップ並びに営業支援を目的に、有名建築家の設計のもと、20社以上の地域工務店がつくばの春風台にて建築した物件の住宅博覧会見学ツアー（期間限定）を開催します。

参加ご希望の方は、申込書（茨城・森から家 Net ホームページにあります）に記入して FAX 029-353-8882 でお願ひ申し上げます。

皆様方のご参加をお待ちしております。

主催：茨城・森から家 Net TEL029-221-3116 担当：佐藤・中村  
里山住宅博 inつくば 主催：茨城県産材普及促進協議会

茨城・森から家 Net 会員、お客様 各位

### 里山住宅博 inTUKUBA2019 ツアー

有名建築家 伊礼智氏、堀部安嗣氏、森みわ氏が ツアー主催：茨城・森から家 Net  
設計して地域の工務店が建築した期間限定モデルハウス TEL029-221-3116  
が見学できるチャンス！！同業者・建築関係者様向け FAX029-353-8882

日時 令和元年8月23日（金）  
①茨城木材相互市場 出発 8:30～茨城木材相互市場 到着 16:30  
②現地集合参加者 10:00～

※時間等は後程参加者様に改めて連絡します。※お昼は各自でお願いします。（予定）

場所 つくば市春風台 36番地 3他「春風台ヒュッケガーデン」

対象 建築関係者様（及び弊社取引販売店様）

費用 茨城・森から家 Net 会員 1社2名まで 無料

（先着20名）※今年度会員になられている方対象

茨城・森から家 Net 会員以外 1名あたり 3000円

※参加費用は当日徴収、里山住宅博運営費の支払いとなります。（別紙参照）  
領収書は当日お渡しします。

ツアー概要（予定無く変更の可能性があります）

|        |  |
|--------|--|
| 8時15分  | 茨城木材相互市場集合<br>（水戸市渋井町50）   |
| 8時30分  | 茨城木材相互市場出発（参加人数によりバスにて出発）  |
| 10時00分 | 里山住宅博 in つくば 到着～自由見学<br>（つくば市春風台 36番地 3他「春風台ヒュッケガーデン」）<br>※現地集合参加者様は 10時までに到着をお願いします。<br>駐車場は現地にありますが出来の限り乗り合いです。お願いします。<br>※お昼は各自でお願いします。（予定） |
| 15時00分 | 里山住宅博 in つくば 出発  |
| 16時30分 | 茨城木材相互市場到着 解散  |

## ■わたしたちの使命 （茨城木材の社会的役割）

「消費と生産を結び価値ある架け橋」となる  
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



## 木造化補助で4施設採択

茨城県

### 9月まで第2回公募中

茨城県は県独自の森林湖沼環境税を活用し、木材利用のモデルとなる展示効果の高い施設を木造、木質化する際に、経費の一部を補助する「いばらき木づかいチャレンジ事業」を行っている。2019年度の補助施設として、茨城県木材協同組合連合会が整備する接着重ね材(BP材)を用いた研修施設を含む4施設が採択された。現在、9月6日締め切りで第2回公募が行われている。

この補助事業は、地域材を用いた木造化・木質化に直接必要な経費(木工事費)の2分の1以内、1件当たり上限1000万円を助成するもの。主要構造部材等は原則100%、茨城県産の杉や桧などを用いる。対象は、広く県民が利用する市町村施設や病院、社会福祉施設、駅舎、金融機関、商業施設など。

採択された茨城県木材協同組合連合会が整備する研修施設(常陸大宮市)は、木造平屋で、県産杉を中心に34立方メートル使用する計画。延べ床面積8平方メートルの在来工法という一般的な建物に用いることで、大規模物件に限らない、BP材の幅広い使い方を提案するほか、長さ12メートル×120×480mmの長尺大断面梁を採用する点も先進的として評価された。

来年4月から使用が始まる予定で、ハーベスタの操作や伐倒作業をシミュレーションできる機械で高度な研修に取り組み、林業従事者の安全性の向上が図られる。

他の3件は幼稚園及びこども園で、それぞれ異なる木材利用の工夫が見られる。

もみじ第二こども園(土浦市)は延べ床面積146平方メートル、木造2階建てで32立方メートルの地域材を使用する予定。保育施設が2階にあるため耐火建築物となるが、大空間を得るために用いているトラスは、耐火ボード被覆コムク材を重ね、木材を見せる工夫が評価された。

すみれこども園体験棟(笠間市)は延べ床面積168平方メートルの木造平屋で、地域材使用量は44立方メートル。伝統的な丸太組み工法を取り入れ、長さ7メートル前後の特殊材をあえて採用する挑戦が評価された。

はなのわ学園はなのわ幼稚園(ひたちなか市)は、木造平屋、延べ床面積194平方メートルで、大屋根のかかるウッドデッキや大断面の太鼓梁を多用するなど、地域材をふんだんに使っている。68立方メートルの地域材利用が計画されている。

日刊木材新聞 令和元年7月27日号より

## 【市日予定】

＜本社＞  
8月23日（金）記念市

＜つくば＞  
8月1日（木）通常市  
8日（木）記念市  
22日（木）記念市  
29日（木）通常市

8/23 納涼市